

<p>人が動く、国土が躍動する。</p> <p>国土交通省</p> 	<h1>みなと しみず</h1>	<p>発行</p> <p>中部地方整備局 清水港湾工事事務所</p> <p>清水港事務所 御前崎港事務所 下田港事務所</p>
--	----------------------	--

所長あいさつ

4月に着任して、もうすぐ半年になりますが、その間に、ワールドカップが開催され、また、清水市と静岡市の合併も正式に決定しました。世の中が動くスピードの早さを改めて感じます。「みなと」をめぐる情勢も様々に変化しています。産業の国際競争力を維持するためにはさらに効率的な国際物流のシステムを築く必要がある一方で、国民、市民が参加し、地域のための「みなとづくり」を進めることもますます重要となっています。

私どもも、机に座って仕事をしているだけでは、世の中の動きについていけなくなると思っています。「みなと」を利用している方々、地域でいろいろな活動をされている方々、様々な方々の話を聴き、そして連携を深めていきたいと思えます。少々うるさいと思われるくらいが丁度良いのではと思っておりますので、皆様方、是非、いやがらずに、これまで以上のご指導をよろしくお願いいたします。



<片山昭 所長>

管内事業の実施状況

1. 清水港

清水港では国際海上コンテナターミナルである新興津地区の岸壁(-15m)の整備を進めています。現在、岸壁上部工の施工を実施中です。引き続き舗装工を実施し、今年度中に1バース分の岸壁本体の工事を終える予定です。



<新興津コンテナターミナル工事現場>

また、並行して、岸壁に入出港するコンテナ船の航路及び泊地を確保するための浚渫工事も実施中です。来年度早々の供用を目指して整備を進めています。

日の出地区の岸壁(-12m)に関しては、昨年度より実施している自然石による舗装を今年度も引き続き実施し、今年度中に2バース(480m)区間の整備を全て終える予定です。

2. 御前崎港

御前崎港では多目的国際海上ターミナルである女岩地区の岸壁(-14m)の整備を進めています。岸壁上部工事に着手したところです。引き続き舗装工を実施し、今年度内に岸壁1バースの工事を終える予定です。

また、航路及び泊地の浚渫も並行して実施しており、さらに岸壁前面の静穏度を確保するため、防波堤の整備を進めています。この防波堤は、海藻ができるように工夫しています。

3. 下田港

下田港では防波堤の延伸を進めており、今年度末より消波ブロック内蔵双胴型ケーソン内に、消波ブロックを据え付ける工事を実施する予定になっています。

清水港利用者懇談会

会報知り地帯心 御前崎

6月12日9時30分から清水港湾工事事務所において、港湾利用者の意見を反映させるべく懇談会を開催しました。これからの清水港の整備に対して、現状の問題点を把握し、将来どのように整備していく事が望ましいか、港湾利用者と行政の間で活発な意見が交わされました。

国土交通Day

7月17日に御前崎港事務所の山本泰明さん、福田真人さんが永年勤続の表彰を受けました。

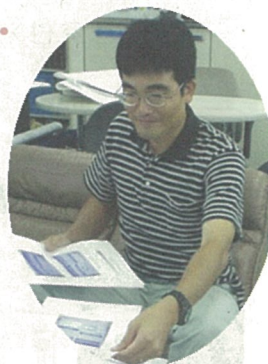
●● [山本泰明さん] ●●

皆様のお陰で永年勤続30年の表彰を受けることができ、ありがとうございました。これからも与えられた職務に全力を注ぎたいと思いますのでよろしくお願いします。



●● [福田真人さん] ●●

勤続20年表彰ありがとうございます。これもひとえに諸先輩方や後輩の方々の御支援、御高配の御陰と深い感謝する次第であります。今後ともよろしくお願いします。



「海の日」記念式典

7月22日10時から日頃、海事関係業務に従事し、港の振興発展に努力をされている方々の表彰と清水市内の小学生を対象とした「海の日 図画コンクール」の最優秀作品と優秀校の表彰がマリビルで行われました。

中部地方整備局長賞に海事関係功労者として、谷昌行さん(株式会社大嶋組代表取締役)、株式会社ドリームプラザ、伊東マリンタウン株式会社が受賞されました。おめでとうございます。



< 受賞式 >

みなとづくり見学会



みなとづくり見学会とは?!

地域コミュニケーション(広報広聴)活動の一環として、国民のみなさんに広く“みなと”の果たす役割について理解していただくために、港に関する講座や船に乗って実際に港を見る見学会を行っています。

6.5	御前崎港整備期成同盟会役員(11人)	7.23	フェル・クラブ(21人)
6.20	榛原町静波地区役員(21人)	7.30	御前崎町立白羽小学校(123人)
6.26	大井川港港湾審議会(19人)	7.31	東海短期大学(17人)
7.4	建通新聞(4人)	8.9	ゆうゆうクラブ(26人)
7.9	東海大学(16人)	8.31	御前崎町中央男子成人学級学習計画(26人)
7.21	国体実行委員、御前崎町・相良町民(55人)	(黒字:清水港、緑字:御前崎港 実施)	

民間団体の活動紹介

清水港周辺で、地域づくりに奮闘されている諸団体をシリーズで紹介していきたいと思います。
今回は「event creation Be-club」と「フェル・クラブ」の2つの団体を紹介します。

event creation Be-club

イベントを通じて街の活性化、何事にも無関心になりやすい若者達の意識改革、郷土愛、遊び心の持てる人づくりを目的に1986年に地元有志が集まり発足し、各種イベントを開催してきました。

現在は、海の環境問題や21世紀の海の創造をテーマにした「SEA DREAMS」の開催や清水みなと祭り、福祉のまつりなど各種イベントの企画・運営・協力を行っています。



〈SEA DREAMS のイベント風景〉



〈クリーンアップ作戦〉

清水港との関わりは
1999年の清水港100周年のイベントを皮切

りに、翌年には「第15回海の祭典」のスタッフとして参加、2001年からは海に関するイベント「SEA DREAMS」を海の日にスタートさせました。海のクリーンアップ作戦や海に親んでもらうため、ビーチフラッグス、魚の放流などを行いました。第2回目となる今年は7月21日に開催しました。

これからも海に感謝し、誰からも愛される海づくり、また心豊かな人づくりを目指して活動を続けていきたいと思っています。(代表:星野知巳)

フェル・クラブ

フェルケール博物館は、港の博物館として地域に根づいて24年、昨年6月に友の会(フェル・クラブ)が誕生しました。会員数100名にも満たないごんまりした会ですが、会員の地道な活動には頭が下がります。

博物館の評価基準は取り敢えず入館者数ですが、これがなかなか難しい時代です。人が来てくれるのを待つ時代から、館の特性を生かして、一人でも多くの方に来て頂く積極姿勢が求められています。当館の



〈当事務所で港についての講座を受講中〉

特性である「港」は、活用次第で大きな可能性を帯びております。

今年4月から学校週休2日制に対応して、当クラブでは小学生4~6年生30人を対象に「港」と「町の歴史」の体験学習を8~10月まで実施します。そこで学んだことは、人前で話ができるレベルまでもっていくつもりです。

活動日が土曜日なので、行政の協力が得られ難いという問題が残っております。週休2日制への受皿として当クラブ、フェルケール博物館、行政の三者一体となった連携が出来れば有り難いと思います。(会長:豊田幹夫)



〈船上から清水港の勉強〉

御前崎・ふれあい映画会

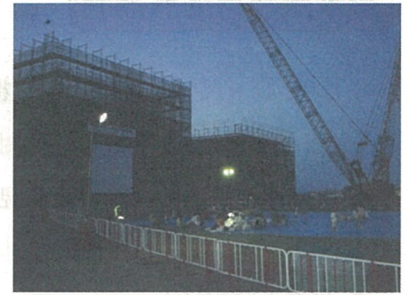
8月30日(金)御前崎港西埠頭ケーソン製作場にて「ふれあい映画会」が開催されました。

この映画会は、港湾工事のイメージアップを図ることを目的とし、御前崎の港湾工事関係者が実施したものです。



〈会場受付〉

当日は好天に恵まれ、星空の下、現在製作中のケーソンを利用したスクリーンに映し出されたディズニー映画「102 (ワンオーツー)」を約700名もの家族連れが観覧しました。



〈ケーソンを利用したスクリーン〉

今年で3回目になりますが、地元周辺には映画館がないこともあり、参加された多くの方からは、次回開催を望む声が聞かれました。

防災訓練

9月2・3日の2日間にかけて防災訓練が行われました。



〈衛星通信車による訓練〉

東海地震を想定し、発災の場合に国の行政機関に求められる港湾施設等の機能確保や、総合的な応急対策に迅速かつ効率的に対応するため、地震災害対策支部の設置運営、関係機関との連携などの訓練を行いました。

連帯訓練では、静岡国道工事事務所の衛星通信車から、清水港内の津波の映像を名古屋本部に送信する訓練。

また、日の出岸壁から静岡方面へ物資を送る為の輸送ルート確保の要請訓練も行われました。

事務所管内の主な動き

H13.12.11	泉副大臣視察 (御前崎)	6.19~20	事業評価監視委員会視察 (全体)
2.18	特定重要港湾指定50周年 (清水)	6.27	工事安全パトロール (清水)
3.1	「下田港の整備経過と将来展望」報告会 (下田)	7.14	静岡市民ふれあいイベント (清水)
3.21	日の出美装化セレモニー (清水)	7.23	海の日式典 (下田)
5.19	興津 FAZ フェア&フアワショウ (清水)	7.25	工事安全パトロール (下田)
5.28	非常時参集訓練 (全体)	7.26	工事安全パトロール (御前崎)

フェルケール博物館・企画展のご案内

平成14年9月7日~10月20日(月曜休館、祝日の場合は開館)

港の役所のはたらき ~船が来た!その時 役所では!??~

フェルケール博物館は、「港」をテーマにしている珍しい博物館です。

今回は、国際貿易港である清水港に日常的に出入りしている貨物船や客船が入港するたび、港周辺の役所がどのような連絡を取り合い、各自の任務を果たしているのか?小・中学生の視点から見た疑問に答えるような展示になっており、港の役所のはたらきがわかりやすく紹介されています。

清水港湾事務所も模型・パネル等を貸し出して、港湾事業のPRをしています。

《 編集後記 》

「みなとしみず」は1990年6月1日創刊以来の縦書きを、編集効率と発刊頻度を高めるため、本号から横書きに改めました。

引き続きご愛読いただければ幸いです。

(S.T)